



伊勢志摩国立公園 / 志摩市から
取りすぐりの情報を潮風にのせて

Vol. 1

2006年 (平成18年)
11月28日発行

志摩市応援倶楽部 志摩びとの会事務局
〒517-0592 三重県志摩市阿児町地方3098-9 (志摩市役所 企画政策課内)
TEL: 0599-44-0205 FAX: 0599-44-5252
e-mail: shimabito@city.shima.lg.jp HP: <http://www.city.shima.mie.jp/shimabito/index.html>

新しいいまちづくりをめざして

平成16年10月1日に志摩郡5町が合併し、新しいまち「志摩市」が誕生しました。現在「住んでよし、訪れてよしの志摩市」をめざし、市民のみなさんと一緒に取り組みを進めています。

そこには、現在志摩市に住んでいる市民のみなさんが安全で安心して生活すること、はもちろん、訪れた人にも「こんなまちに住んでみたい」と思っていただけのようなまちづくりを展開していきたいという想いが含まれています。

このようなまちづくりを考えていく中で、志摩市で生活する我々だけでなく、志摩市を離れ活躍する方々からも、志摩市を応援して頂こうと設立しましたのが、志摩市応援倶楽部「志摩びとの会」です。

応援倶楽部「志摩びとの会」です。今回の設立にあたっては、多くの方にご入会を頂きましたが、志摩市出身の方、ならびに志摩市を愛して下さる方が、こんなにもたくさん全国、世界各地でご活躍されているということに改めて知り、嬉しく、また誇らしく思いました。

今後、会員のみなさんと一緒に、新しいまちづくりをめざし、元気な志摩市を築きあげていきたいと考えていますので、応援のほど、よろしくお願ひします。



志摩市長 竹内 千尋

父は、自らの命の終わりを感じてから、「志摩に帰りたい」と毎日のようにつぶやいていました。私は東京生まれの東京育ちですし、父が生きている間は冷たい娘でしたが、これからは父に代わって、志摩に生きる人々のしあわせと、志摩の限らない自然と伝統産業を愛したいと思っています。

脚本家 大石 静

プロフィール

1951年東京生まれ(祖父・父は志摩町片田出身)。日本女子大文学部国文学科卒業。86年に「水曜日の恋人たち」で脚本家としてデビューして以来、テレビ・映画の脚本家として活躍。NHK朝の連続テレビ小説「ふたりっ子」で第15回向田邦子賞と第5回権田賞をダブル受賞。また、多数のエッセイを出版する一方で、作家としても注目を浴びる。現在もNHK大河ドラマ「功名が辻」の脚本をてがける。



「皆様の想いを胸に・・・」

志摩は自然に恵まれ、人の温もりを感じる私の慢のふるさとです。竹内市長を始め、たくさんの方に応援して頂いていることや、子供達に目標としてもらえることが大変励みになっています。そんな皆様に恩返し出来るよう全国各地で試合をし、私自身が頑張ることで、一人でも多くの方に興味を持ってもらい、志摩市の魅力を知って頂ければ嬉しいのです。これから益々志摩市が発展されますことを岡山の地より願っています。

岡山シーガルズ 山口 舞

プロフィール

1983年生まれ。志摩町和具出身。大阪国際滝井高校を経て、Vリーグ岡山シーガルズのセンタープレイヤーとして活躍中。

■岡山シーガルズ公式サイト
<http://okayama.v-seagulls.co.jp/>

募集!

楽しみ方は自由自在
地域の方々と心からふれあう一週間ステイタス
(長期滞在地域コミュニティ参加プログラム)

参加モニター

従来の通過型観光とは異なり、じっくりと地域に滞在し人と人との交流、文化的交流、技術的交流を通じて、参加モニター自身が地域と共に活動。地元の方々と心からふれあいがながら、その土地ならではの楽しみ方を自分流にコーディネートしていく……。実証実験を通して、ゆとりある大人の方々に向けた『新しい旅のカタチ』を探っていきます。

会員の皆さんも、この「ステイタス」で自分流の志摩市の旅をコーディネートしてみたいかかでしょうか。

プログラム一例


英虞湾 シーガヤック体験
おだやかな真珠の海を散歩する。ここで出会うのは、新しい日常への旅立ち。



大王崎 風景絵画体験
美しき大王崎は「絵かきの町」。感動を刻む、自分と向き合う時間。



てこね寿司を学ぶ
漁師発祥の郷土料理「てこね寿司」。市場での魚運びから、地元の名人に学ぶ。



海女小屋体験
海女さんの休息場「火場」で、志摩の海の魅力を満喫。




Shimabito

来たれ! 志摩びとの会

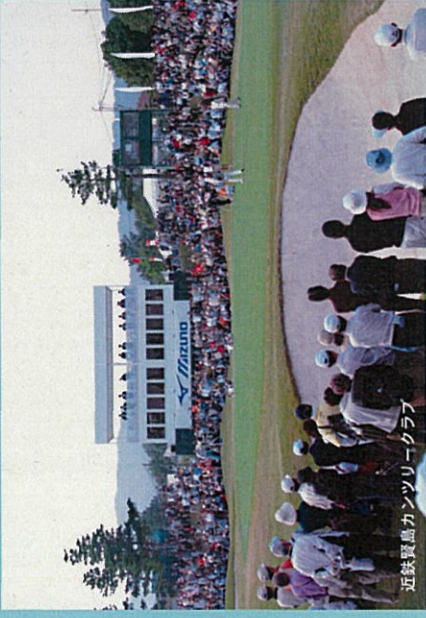
今年8月より募集をスタートした志摩びとの会。現在約100名の方にご入会を頂き、設立を迎えることができました。志摩びとの会は今後ますますネットワークを広げ、志摩を愛する人たちの心をひとつにまとめていける会になればと願っています。

会員のみなさんの周りにも、志摩を愛する志摩びとはいますか? そんな志摩びとがいれば、ぜひ志摩市応援倶楽部「志摩びとの会」を教えてください。

志摩市応援倶楽部 志摩びとの会 事務局
〒517-0592 三重県志摩市阿児町地方3098-9
志摩市役所 企画政策課内
TEL: 0599-44-0205 FAX: 0599-44-5252

e-mail: shimabito@city.shima.lg.jp
HP: <http://www.city.shima.mie.jp/shimabito/index.html>





近鉄鷗島カンツリークラブ

志摩の地で熱戦!! ミズノクラシック～伊勢志摩～

11月3日から5日の3日間、日本で唯一の全米女子プロゴルフ協会の公式戦「ミズノクラシック」が、志摩市の近鉄鷗島カンツリークラブで開催されました。前人未到の6連覇に挑むアニカ・ソレンスタム選手や全米ツアー一帰国後、国内2連勝と勢いに乗る宮里藍選手その他、横峰さくら選手や大山志保選手といった日米のトッププロが集うということもあり、期間中は市内外から約1万8千人のギャラリーが志摩の地を訪れました。

白熱の結果は14アンダーでカーリー・ウェブ選手が堂々の優勝。肥後かおり選手が10アンダーで続く結果となりました。ミズノクラシックの熱い戦いは、来年もこの志摩の地で繰り広げられる予定です。ゴルフ好きの会員の方、是非この機会にトッププロのプレーを観戦してみたいかかでしょうか！

伊勢志摩で極上グルメと美しい日本の心に出会おう!!

伊勢志摩キャンペーン「美しい国、まいるう。」

伊勢志摩では、20年に一度執り行われる平成25年(2013年)の第62回神宮式年遷宮に向けた諸祭典と行事の始まりを機に、伊勢志摩への更なる誘客を図ることを目的として、平成18年10月から半年間、官民一体となって力を結集した「伊勢志摩キャンペーン」を実施しています。

志摩市ではキャンペーン期間中、志摩の観光スポットを語り部とともに巡る無料周遊バス「さらり志摩号」が運行中(毎日曜・近鉄鳥羽駅発着)のほか、志摩産にこだわった「伊勢えび」、「的矢かき」、「あおりふぐ」といった3大グルメをおもいきり味わえる「志摩3大グルメプラン」、志摩市内の温泉を割引価格でお楽しみ頂ける志摩温泉郷「湯めぐり手形」、志摩の特産品を集めた和具漁港「志摩の特産物

市場」(毎日曜)など、たくさんのお待ちしています。伊勢志摩キャンペーン期間中に、伊勢・鳥羽・志摩を旅してご応募ください。抽選でペア宿泊券やお食事券など素敵な賞品が当たります。

美し国、まいるう。

伊勢・鳥羽・志摩

200組以上 あたる!!

“総額1,000万円”

ビッグプレゼント!

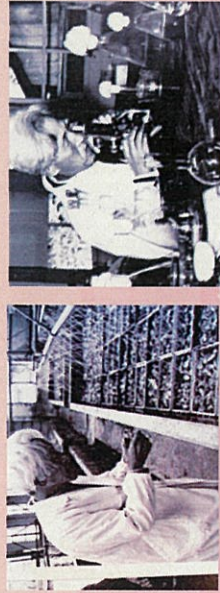
伊勢志摩キャンペーン期間中に、伊勢・鳥羽・志摩を旅してご応募ください。抽選でペア宿泊券やお食事券など素敵な賞品が当たります。

■詳しくは
TEL: 0599-46-0570 FAX: 0599-43-8321
e-mail: info@kanko-shima.com
HP: http://www.umashi-kuni.jp/
志摩市観光協会

的矢かき養殖にかけた佐藤忠勇

探究心旺盛な佐藤忠勇は昭和2年(1927)、真珠の浮標(竹)にカキの附着があり、その良好な成長に着目し昭和3年(1928)、カキ養殖を始め大量生産への道を切り開いたカキ養殖の先駆者として、知られるようになりました。

そして昭和28年(1953)紫外線によるカキ浄化法の発明による『清浄カキ』の誕生は、広く消費者に支持されることとなり、『的矢かき』を全国的にしました。



環境保全を説き、的矢湾を守った。

昭和30年頃、伊雑浦(的矢湾)を淡水化し、農業用水とする国の計画がありました。すでに環境保全の重要性を説いていた氏は長年の研究データを提示し、的矢湾、近海の魚貝類に悪影響を与えると強く説得し、その計画を中止させました。「環境保全が的矢湾を守る」という氏の教えは今もしっかりと生きつづけています。



「清浄的矢かき」

※佐藤忠勇の資料は志摩市立磯部図書館・郷土資料館2Fでご覧いただけます。

佐藤忠勇 略歴

明治20年 11月8日、東京本所に生まれる
明治44年 東北帝国大学・農科大学・水産学科養殖部卒業(現北海道大学)
昭和3年 的矢湾養殖研究所設立 所長に就任 カキ養殖大量生産を目指す
昭和28年 紫外線利用によるカキ浄化法を発明 特許取得
昭和37年 監投票章受賞
昭和40年 春の戦跡において勳四等瑞宝章贈る
昭和59年 従五位表彰、96才にて没

ぎびしい漁だからこそ最上級の味覚

『伊勢えび』と『あおりふぐ』

温暖な伊勢志摩といえども冬の漁はさすがに厳しいものがあります。言わずと知れた志摩特産の「伊勢えび」、新しいブランドとして売出し中の「あおりふぐ(トラフグ)」。漁師たちは厳しい自然条件の中、永年の経験と技で最上級の獲物を狙います。



新しい志摩の味覚として『あおりふぐ』が人気

「あおりふぐ」「伊勢えび」どちらも厳しい自然で育ってこそ、あの絶妙な味が生まれる



志摩ゆかりの

偉人

書いた旅行記『尾鰻欧行漫録』(びょうおうこうまんろく)は高い評価を受ける。

後に図書館設立の必要性を説き、明治5年(1872)『書籍院建設の儀』の建白書を提出。近代図書館設立の功

近代図書館設立の功労者 市川清流

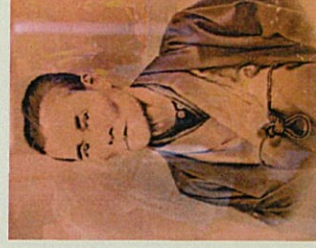
文政5年～明治12年(1822～1879)磯部町山原生まれ

文久元年(1861)慶應義塾

大学創始者福沢諭吉などと一緒に遣欧使節団として、ヨーロッパを訪問。この旅で

芳者となる。

清流は向学心が強く、史学・倫理の研究、また書・絵画・彫刻・囲碁には秀でた才能があったと言われている。



※市川清流の資料は志摩市立磯部図書館・郷土資料館2Fでご覧いただけます。

伊勢志摩国立公園指定60周年「みらいへの共生」

第48回自然公園大会

11月8・9日の両日、人と自然との豊かなふれあいを推進するための全国的な祭典「第48回自然公園大会」が開催されました。三重県での開催は、昭和52年にともやま公園(志摩市大王町)で第19回大会を開催して以来29年ぶりで、伊勢志摩国立公園指定60周年とも重なり、自然の豊かさを再認識する絶好の機会となりました。



モリゾーとキッコロもかけつけた「開会式」

8日の志摩市阿児アリーナ(志摩市阿児町)で開催された式典は、常陸宮・同妃両殿下をお迎えし、全国の自然功労者表彰を行うなど盛大に執り行われました。また、合歓の郷(志摩市浜島町)が会場となった「ふれあい広場・夕べのつどい」は、志摩の味覚や文化、自然を堪能する人々であふれました。

また、翌9日の志摩市・伊勢市・鳥羽市、南伊勢町で行われた野外活動には、県内外から多くの参加があり、各地でさまざまな体験を楽しむ姿が見られました。



ふれあい広場で実施された「1,000人バーベキュー」



幻想的なステージを醸し出した「夕べのつどい」